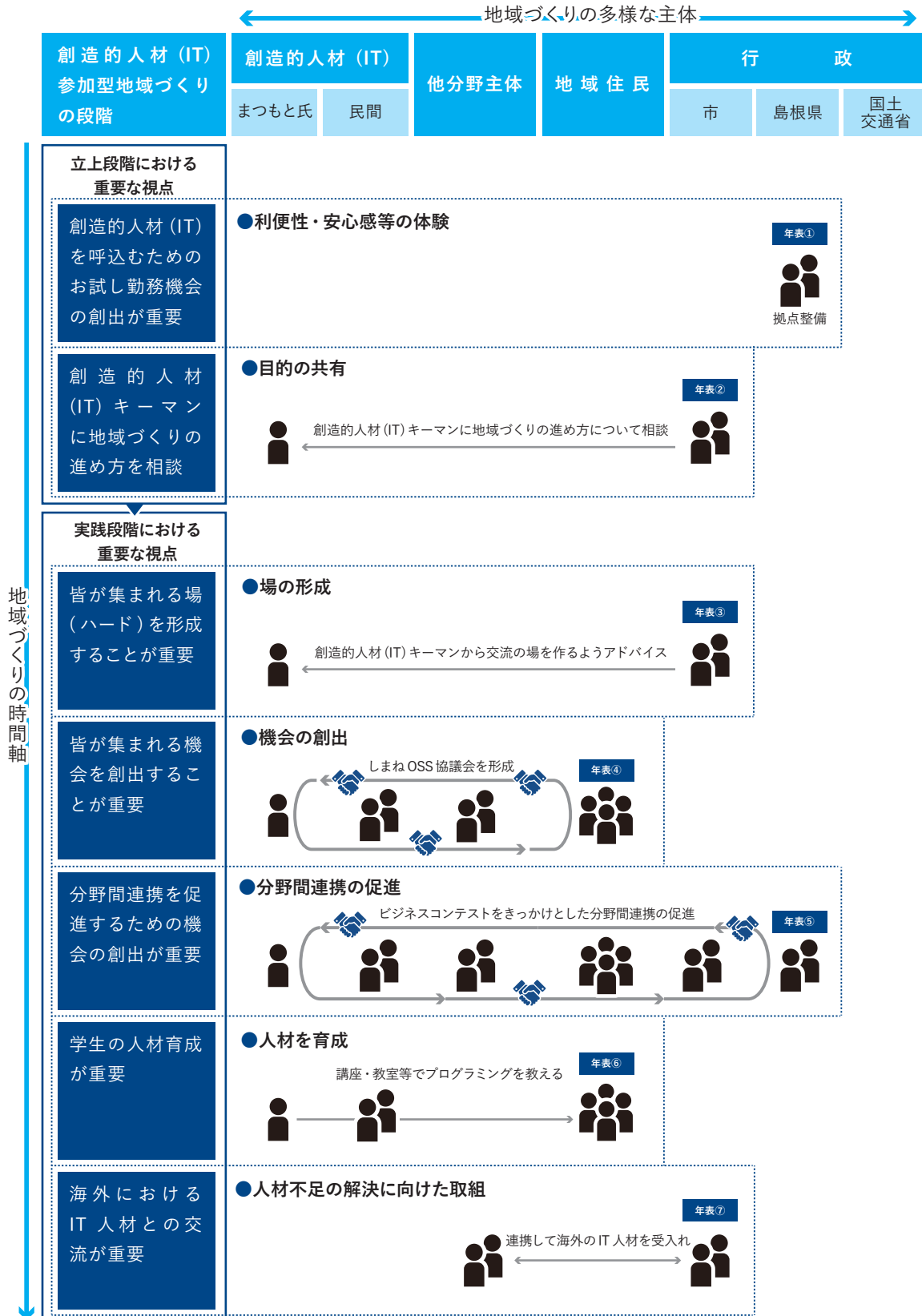


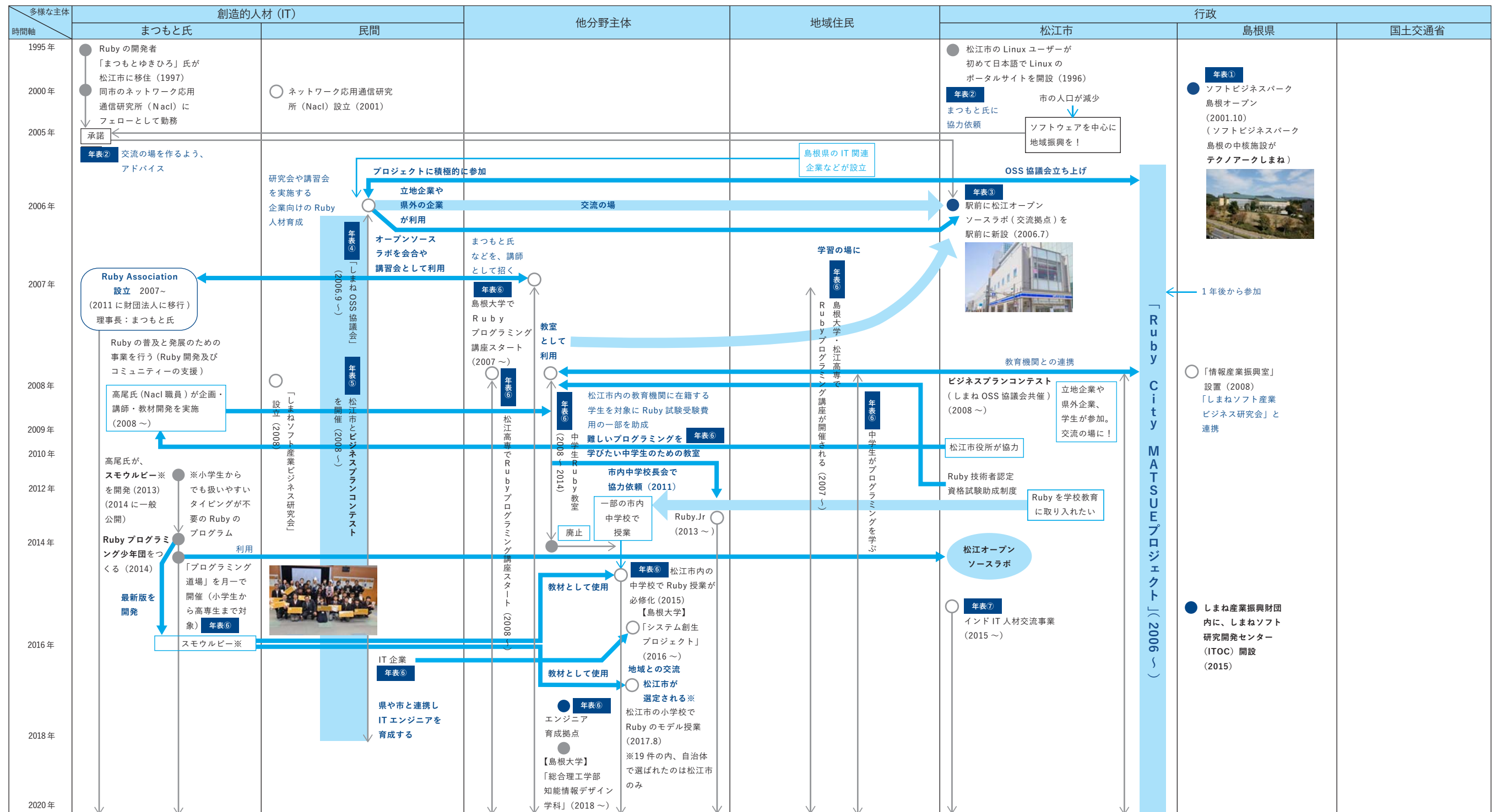
島根県松江市における創造的人材(IT)参加型の地域づくりシナリオ



注1) 本頁は、松江市職員・島根県職員・IT 移住者へのヒアリング結果 (H29.11.13)、松江市職員・地域代表者へのヒアリング結果 (H30.11.22)、並びにヒアリング提供資料等をもとに作成

創造定住拠点形成事例

島根県松江市における創造的人材(IT)参加型の地域づくり年表



● : 主な拠点施設 ○ : 主な関連事業 ● : 主な出来事

①テクノアークしまねは、知的集約型企業のさらなる飛躍と新産業の創出を目的として造られた企業団地であるソフトビジネスパークの中核施設。ここには、(公財)しまね産業振興財団、島根県産業技術センター、しまね知的財産総合支援センター、次世代技術研究開発センターなどが入居。また、創業者支援室等(インキュベーションルーム、レンタルオフィス)やデジタルコンテンツ制作支援室を備え、新産業の担い手となる企業や意欲ある起業家のために様々なサポートを行っています。

②開発者のプログラマー・まつもとゆきひろさんは松江市を拠点に、ウェブを通じて世界とつながり活躍。

③中心市街地であるJR松江駅前に、時代の潮流であるオープンソースソフトウェア(OSS)に特化した、研究・開発・交流のための拠点として、「松江オープンソースラボ(松江市開発交流プラザ)」を設置。この「松江オープンソースラボ」を拠点として、オープンソースソフトウェアに関わる企業、技術者、研究者、学生、ユーザーが交流を深めることで、技術・競争力の向上と優れた人材の育成を図るとともに、新たな市場の開拓による本市の産業活性化と地域ブランド(Ruby City MATSUE)創造に取組んでいる。

注1) 本頁は、松江市職員・島根県職員・IT移住者へのヒアリング結果(H29.11.13)、松江市職員・地域代表者へのヒアリング結果(H30.11.22)、並びにヒアリング提供資料等をもとに作成

④しまね OSS 協議会は、島根県内における OSS (オープン・ソース・ソフトウェア) に関わる企業、技術者、研究者、そしてユーザーによる組織。

⑤松江市では、オープンソースのプログラミング言語「Ruby」を松江のオンリーワンの資源として、産学官が一体となって「Ruby City MATSUE プロジェクト」を推進しているところです。このプロジェクトの一環として、オープンソースによる地域振興の中心を担う「しまね OSS 協議会」と松江市は、第11回目となる「松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト」を開催。本コンテストは、IT 業界にとどまらず幅広い分野の人達にオープンソースの情報を広く提供し、オープンソースを活用するプランをアイデアから形にすることで、オープンソースを活用した新しいビジネスプランを事業化・起業化へ繋げることを目的としている。